

令和 五年 賀詞交換会

- 細田茂参与： (若い)皆さんが活動しやすい環境づくりを支援できればと考えております。本年もどうぞよろしくお願いいたします。
- 児玉憲一副会長： 教育委員会/資格試験設計製図講習会への注力・合格率アップと、そこからの会員の増加に繋がればと思います。本年もよろしくお願い申し上げます。
- 高野直樹副会長： コロナ禍の影響でWeb会議が日常的に行われるようになりました。当初、対面でない理事会にとまどいもありましたが、資料は見やすい、説明者の声は聞き取りやすく、内容がよく理解できる。Webの利点も感じました。皆さまにとって健康な1年でありますこと、お祈りいたします。
- 徳岡浩二副会長： 交流中心の組織にとってコロナ禍は大きな打撃でしたが、ようやく出口が見えてきたように思います。念頭に当たり海外のインテリアデザインの最新情報を提供し、夢と希望を感じられる魅力ある団体への再チャレンジの一年になることを祈念いたします。
- 紺藤建夫
事務局長代行： メールマガジン発行： 新型コロナパンデミックは足掛け4年、正味3年間を世界的に蔓延しました。国の内外の状況は変化し続けています。少しでも、皆さんの参考になるような資料を探して発信します。あわせて、皆様からの投稿も待っています。
- 石津勝理事： 昨年の忘年会では、70歳オーバーの方々の明るいお姿に接することができ、元気な力を分けて頂きました。これからも諸先輩方の姿を見習って明るく前向きに歩んでいきたいと思えます。どうかよろしくお願い致します。
- 井手洋一理事： 本年も教育委員会の学科通信講座のとりまとめを担当します。よろしくお願いいたします。
- 猪木陽子理事： コロナから3年。いよいよwithコロナへ。
名前も新たになった新生JIPAKと共に、みなさんと新しい時代の魅力を発掘し、心に残る一年となりますよう活動して参ります。今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

- 伊東政信理事： 来る大阪万博とJIPA全国大会に向けて、力強いスタートの年となりますよう期待しています。「JIPA2010全国大会in奈良1300」では、おひぎ元の細田会長や阿部理事の卓越した牽引力で全員一丸となり、全国から絶賛されたあの大会を再現する時です。
- 北川良明理事 世界中で行動制限が無くなり、新しいインターナショナルな世界で、世界から日本へ、日本から世界へ広がるインテリアデザインは多様性とスタンダードがバランス良くデザインされていなくてはなりません、アジアの時代を日本が牽引出来る様に世界へ情報発信すると共に世界の情報を知る為の機会を提供出来る様に活動したいと思っています。
- 久保勇人理事： コロナ禍での建材上昇があり、厳しい建築環境ではありますが、住宅等の建築現場では木材が外国産から国産材に変わり、流通が活性化している事を感じています。他県同様に四国の山も切り時を迎えています。香川県の山の場合は、桧材にあたります。今年は、より積極的に建築・インテリア設計に県産材を取り入れて行きたいと思っています。
- 中村孝之理事： あけましておめでとうございます。本年も、関西でインテリアに携わる人たちにとって有意義な活動が出来ればと思います。日本インテリア学会関西支部とも、団体の枠を超えて交流しレベルアップが図れるよう、様々な企画での連携を考えます。よろしくお祈いします。
- 保田孝監事： コロナは社会変革という大きな副産物をもたらした。これを”沈滞する日本”から脱出する好機としなければ先進国から外れる。今やその原動力となる若い人材開発と活動支援が必須。JIPAKの活動の主軸はそこにあり、それに集中にする年が来た。
- 中山邦子監事： 明けましておめでとうございます。常々女性会員の参加が少ないと感じていましたが、今年はコロナ規制も緩んで直接顔を合わせるイベントが再開されれば、活動参加への声掛けもしやすくなるかなと期待しています。
- 岡田優名誉理事 明けましておめでとうございます。「不易流行」京都では変化を受け入れてこそ伝統を守ることができるとよく言われます。数寄屋大工の伝統の技を持ってパリやミラノサローネで新しい斬新な作品を展開する若手の職人さんもいます。業務形態、或いは事業形態までも変化しつつある今、インテリアの「本質」を再度問い、会員の更なる若返りも増やしつつ新たな展開を模索する時ですね。
- 福嶋秀子
JIPAK事務局員： 事務局の整理整頓、清掃を心掛け、スムーズに運営されるよう協会活動をサポートしていきたいと思ひます。どうぞ宜しくお祈い致します。